

大切な人の命を守る 尿で測る

 stage 測定キット販売



Pstageで健康長寿

がんと心疾患のリスク



日本におけるがんによる死者は年間38万5,797人。
日本人の死因の1位となっています。
一生のうち、2人に1人が、がんにかかるとも言われています。
それに続く2位はストレスが原因とされる心疾患です。

Pstage測定キットは、超早期のがんリスクと
活性酸素による酸化ストレスからくるリスクを
A I による画像解析で結果を翌日にだす画期的な商品です。

早期がん治療に

心筋梗塞、脳溢血の未病対応に

細胞の異常増殖で発生する代謝物を測定

早期がんリスクを数値化

アミノ酸：ジアセチルスペルミン（DAIAS p m）

がん細胞は長い時間をかけて増えています。

自覚症状がないから

自己測定での気づきが重要！

がん細胞は成長と分裂が早く、症状が現れるのは、がんが大きく進行し始めた時です。自覚症状のない期間にがんを発見することで、治療率の向上が見込めます。他の検診で偶然がんを発見できる例もありますが、偶然に頼るのではなく、定期的な自己測定で、いち早くがんリスクに気づくことが大切です。



がんを1cm以下の大きさで発見されると
治療効果は格段に上がります。

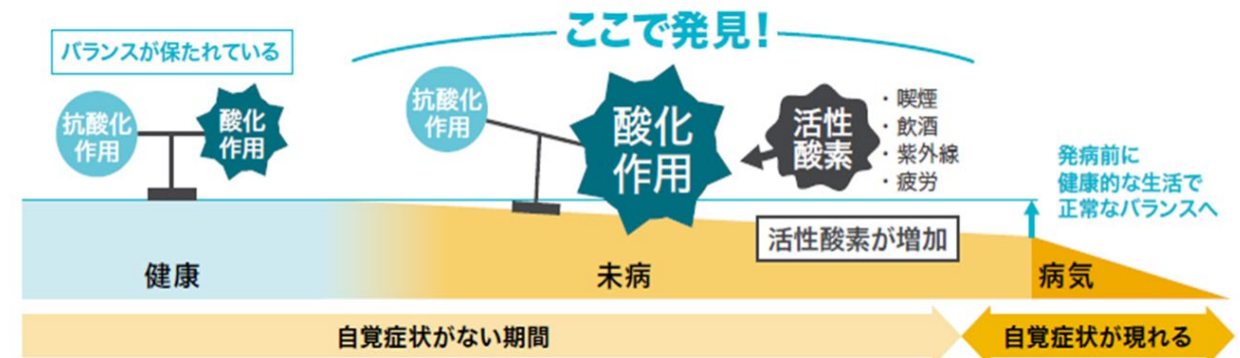
酸化ストレスを数値化

細胞DNAから発生：8-OHdG

自覚症状がないから

自己測定での気づきが重要！

日常生活習慣である食生活、喫煙、飲酒、運動などに関連して活性酸素が体内に蓄積し、細胞のDNAを攻撃すると酸化ストレスが高い状態、つまり身体がさびついている状態となります。8-OHdG (8-ヒドロキシデオキシグアノシン)は活性酸素がDNAに攻撃を加えた結果として生じる物質です。身体はこの8-OHdGを尿とともに排泄します。そのために尿中に排出される8-OHdG量を測定することで、体内の酸化によるダメージ状態が分かります。早期にこれらの情報を把握することで、未病の状態から疾患への進行を未然に防ぐための適切な措置を講じることが可能になります。



活性酸素が原因の病気の早期発見

全てのがんと活性酸素が原因のリスク発見

超早期段階を知るための
がんリスク測定キット

stage

簡単
測定

AI画像
判定

郵送
なし

翌日
報告

stage

超早期段階を知るための
酸化ストレス測定キット

尿中ジアセチルスペルミン測定キット

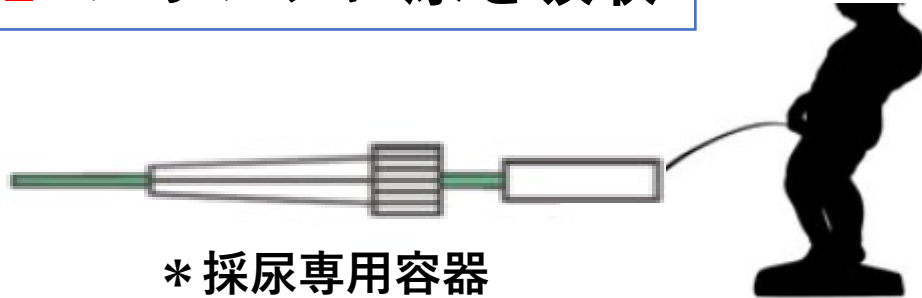
がん細胞の特徴の一つである、細胞の異常増殖に伴い、ポリアミンというアミノ酸の1種であるジアセチルスペルミン（DAIAS pm）の尿中排泄量が増加することが発見されました。ジアセチルスペルミンの排泄量を測定することで一般的測定では発見が難しいとされているステージ0～2のがんが発生しているリスクを**超早期**で発見することができます。

尿中 8-OHdG 測定キット

食生活や生活習慣が悪いと、体内のさび付きが増えてしまいます。これを酸化ストレスと呼び、身体にダメージを与える原因になります。酸化ストレスが高いと、体から8-OHdGという物質が増えて尿に排出される量も多くなります。尿中の8-OHdGの量を測ると、体内での酸化ダメージの状態を知ることができます。

簡単に自宅で測れます

1・スポンジに尿を吸収



4・専用アプリに情報入力

pstage

お名前
中木 英勝

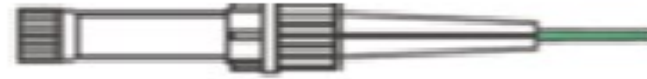
メールアドレス
nakaki@olive.ocn.ne.jp

生年月日
1954/03/24

キット番号
111555

保存

2・バーを引っ張り尿を絞る



3・反応板に滴下

* 免疫反応
で着色



* 約 10 分

5・スマホで撮影

6・送信

7・AI 画像判定

インターネット 遠隔読影拠点



翌日結果がメールで

P-STAGE

測定結果

氏名：シルクリハナコ

受付日

2023/04/21

年齢：52 才

あなたのリスク評価は

A

です。



A 良好

0.00

B 経過観察

0.00

C 要注意

0.00

D 受診推奨

今回のあなたの状態

4.37 nmol/gCre

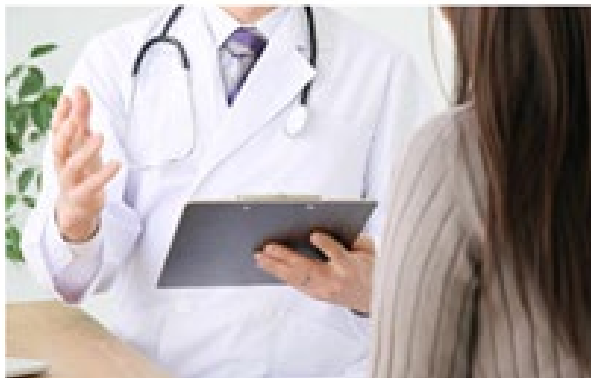
結果報告後のサポート

人間の体は毎日がんが発生しています。
体調によって高リスク結果になることもあります。

1 回目高リスクの測定者には 2 回目のキットを
無償提供します。

2 回目も高リスク結果が出たら医師の診断を
勧めます。

そして専門の医療機関を紹介してもらいます。



全身MRI検査(ドゥイブス)



大腸内視鏡検査

エビデンスによるデータの裏付け

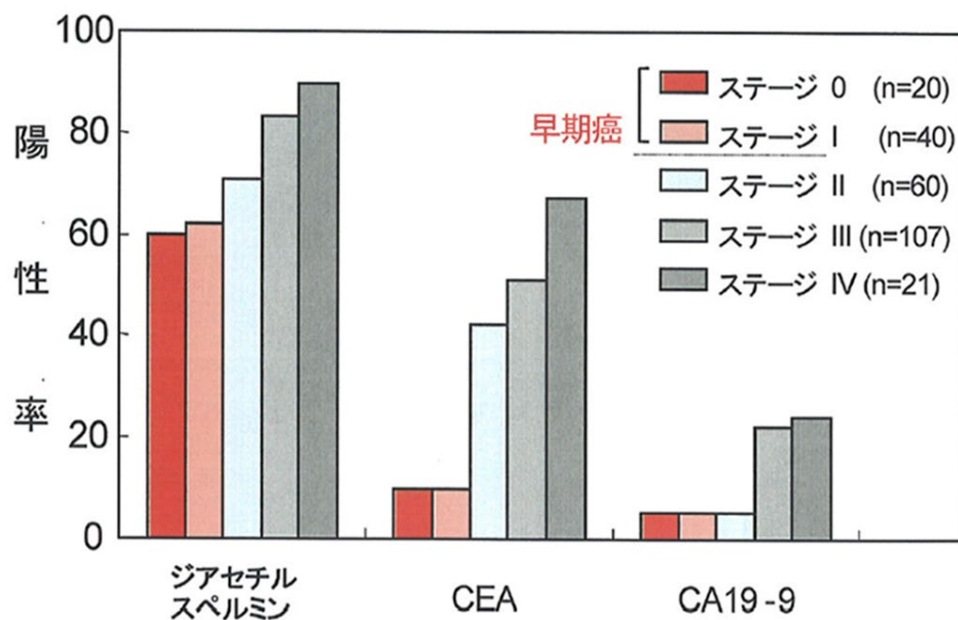


実患者で腫瘍マーカー結果比較

某大学付属病院での測定結果

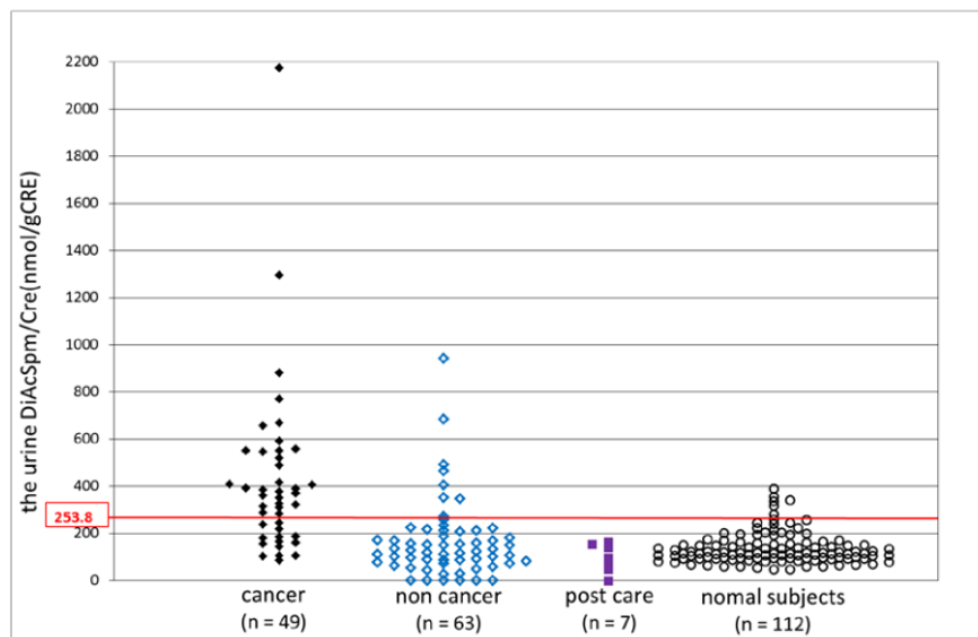
大腸癌患者の病期別手術前癌マーカー陽性率

CEA、CA19-9より早期がんでの陽性率が高い



東京都医学総合研究所

癌疾患の有無による尿中N1,N12-ジアセチルスぺルミン測定結果



cancer : がん治療患者
Non cancer : 一般治療患者
Post care : 退院患者
Normal subjects : 病院職員

尿中N1,N12-ジアセチルスぺルミン測定意義に関する検討_JJCLA43(1)



事例報告1

*** 過去に膀胱癌の手術をした人で今回のキットを使って測定した結果、通常より高い報告を受け、医療機関にすぐ行き、膀胱鏡検査で米粒程度の癌が見つかり、すぐに手術が決まり4日の入院で退院しました。**

*** 初めてのキット使用で、要注意の結果が出ました。
医師の勧めで大腸鏡の検査を行い、大腸に腫瘍が見つかりすぐに摘出して病理検査ステージ1程度のがんだったことが分かりました。**



事例報告 2

- ＊ 歌手堀江淳さんがキットを使用したところ
経過観察の結果が出ました。間を置き2回目の
測定を行ったところ正常の数値になっていました。
今後は定期的に測定して様子を見るということです。
- ＊ 会社の社長が従業員のために10セットを購入、従業員に
配布しました。
- ＊ 有名なコンサル会社の代表が、150キットを購入して顧問先、
社員に配布しました。
- ＊ 医療機関で勧める施設が増えています。

Pstageで健康長寿

▶ [ご購入はこちら](#)

▶ [ホームページへもどる](#)